

高等学校 令和6年度（3学年用）教科

地理・歴史 科目 歴史総合

教科：地理・歴史 科目：歴史総合

単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 A組～ B組

教科担当者：

使用教科書：（歴史総合 実教出版）

教科 地理・歴史 の目標： 社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 歴史総合 の目標： 社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に、それらが日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解している。 ・現在の日本を取り巻く世界情勢を考える基礎的な知識と様々な視点を理解している。	・近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの歴史の変化と、日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について考察し、表現している。 ・複数の資料の関係や異同に着目して、資料から読み取った情報の意味や意義、特色などを考察し、表現している。	・中学校社会科における学習の成果を生かし、必修科目である「歴史総合」を学ぶ意義や目的、歴史的な考察の方法やその特質について、主体的に理解を深めようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
前期	・17世紀を含めた18世紀とその前後の日本やアジアにおける生産と流通、江戸幕府の4つの口や周辺地域との貿易などを基に、18世紀の日本からみた東アジアの政治・経済と社会を理解している。 ・17世紀から始まり18世紀から19世紀にかけての日本が4つの口を通して周辺地域との関係に着目して、主題を設定し、周辺地域の動向を比較したり、相互に関連付けて理解している。 ・欧米諸国の主権国家成立とその後の対立構造の動向について理解している。	近代化への問い 17世紀以前のアジアと欧州 江戸時代の日本① 江戸時代の日本② 欧州の主権国家体制の成立 イギリスの産業革命とアメリカの独立 フランス革命とウィーン体制 ナポレオンと世界	【知識・技能】 ・ヨーロッパの覇権争いの中で各国の役割を理解して時期ごとに段階的に説明できる。（知識） ・江戸幕府四つの口の交易品や相手国などの違いをまとめ説明することができる。（技能） 【思考力・判断力・表現力等】 ・江戸幕府はロシアとの関係をどのように考えていたのか、多面的・多角的に考察できる。 ・冊封体制が東アジアに果たした役割、清の海禁政策と日本の鎖国との関係について、多面的に考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ヨーロッパを中心とする見方の問題点を主体的に追究して、アジアの繁栄について意欲的に学習しようとしている。	○	○	○	13
	定期考査	アヘン戦争前の欧米列強間の対立アヘン戦争の衝撃と日本の開国 江戸幕府の滅亡	【知識・技能】 ・三角貿易の具体的な内容、アヘン戦争の原因、戦闘の様子、条約の内容をまとめ、説明することができる。（技能） 【思考力・判断力・表現力等】 ・「日本と欧米との条約が清と欧米との条約と異なる点は何だろうか」という問いに多面的・多角的に考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ペリー来航のインパクトの大きさだけに目を奪われず、欧州各国の東インド会社等の動向など、その前提となる史実を追究して、より広い視野から日本の開国について考えようとしている。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
後期	・明治政府は、どのような国づくりをすすめたのかを理解している。 ・明治維新の過程を理解している。 ・明治新政府の政治姿勢の基本を理解している。 ・自由民権運動がめざしたのは、どのような国家だったのかを理解している。 ・明治政府の方針と自由民権運動との関係について理解している。 ・日本での立憲国家の成立過程について理解している。	明治維新の初動① 明治維新の初動② 明治政府の諸改革① 明治政府の諸改革② 文明開化とアジア外交 自由民権と日本国憲法① 自由民権と日本国憲法② 明治維新とは何だったのか	【知識・技能】 ・明治新政府の政策がどのような理由で推進されたのかについて説明できる。 【思考力・判断力・表現力等】 ・新政府の改革を民衆の立場から読み書き、当惑者感覚からの国民にとっての明治維新を自分なりに考えられる。 【主体的に学びに向かう力・人間力等】 ・当時と現在の人権意識の差から、民主主義と憲法の意味を考え、社会人として認識を高めようとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	・帝国主義の世界を当時の視点から理解している。 ・日清戦争の前提となる当時の東アジアにおける列強の動向と日本の立場について客観的に理解している。 ・日清戦争の過程を理解している。 ・日露戦争を前後とする日本の世界からのまなざしの変化を理解している。 ・第一次世界大戦の背景と影響を理解している。 ・第二次世界大戦に日本が没入してゆく背景と戦後の復興の有様を理解している。 ・未来に向けての日本の姿を自分なりに考えることができる。	日清戦争 日露戦争と世界 日本の産業革命 第一次世界大戦 第二次世界大戦 日本の復興と世界秩序の形成 グローバル化世界の展望	【知識・技能】 ・日本の国是がアジア主義から脱亜へ展開してゆく過程を中立的に理解できる。 ・日露関係を二国間ではなく、欧米列強の多国間パワーバランスから読み解き、世界史の中の日露戦争の意味を理解できる。 【思考力・判断力・表現力等】 ・近代日本が、関わった諸戦争について、周辺国家からの多角的な視野に立って、近代戦争の中の日本のあり方を自分なりに考えられる。 【主体的に学びに向かう力・人間力等】 ・歴史の展開の中で継続的に存在し、時折勃興する世界的人権問題について、科学的に分析し、理性を以てこの大きな問題を深く考え、自分なりに行動できる人間になろうとしている。	○	○	○	10
定期考査			○	○		1	